

意見提出元	広島テレビ放送株式会社
意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望（2015 年ごろや 2020 年ごろのワイヤレスブロードバンドのサービスイメージ、システムイメージなど）	○限りある電波資源の有効な利用・促進は、不可欠であるとする。特にワイヤレスブロードバンド社会は、国民生活を向上させ、安心・安全な社会の実現を目的としていることからシステムの整備を図る事が急務である。高齢化社会の進展とともにその需要は、今後益々増加するものと思われることから高齢者にも扱いやすい簡素なシステムの導入を望みたい。
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題（周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備）	○地上テレビジョン放送のデジタル化に伴う空き周波数の有効利用方策において、①移動体向けマルチメディア放送、②ブロードバンド通信可能な自営通信、③携帯電話等の電気通信、④高度道路交通システム（ITS）の4つの用途に割り当てるとする周波数再編アクションプランの改訂には賛同する。 ○800MHz帯FPUは高画質、高効率なHD素材伝送技術の研究開発が進められ、平成21年度中に実証実験による技術開発の策定が行われたところである。アクションプランにはそれに沿った必要な制度と環境整備が行われる事を要望する。
(3) 関連する国内外の動向と課題	○800MHz帯FPUと共用している特定ラジオマイクについては、運用上、双方が調整しながら利用しており、周波数の有効利用は図られているものとする。
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	○800MHz帯FPUは、事件・事故、災害時等の報道中継やマラソン・駅伝中継時などの移動中継や見通し外中継等でその伝搬特性を活かし、効果的に使っている。また、この目的のための伝送としては、他のどの無線システムよりも信頼性に優れ、効果的な伝送手段として必要不可欠なシステムとする。 ○時間的・空間的な電波の有効利用策の検討は重要で

	あるが、放送が国民の知る権利に応えると言う社会的使命を果たすために重要度や優先度の点においても十分に精査され、アクションプランがまとまる事を期待する。 ○ 8 0 0 MHz 帯 F P U の無線局数の多少や利用頻度で電波の有効利用や効率化が図られているかどうかを評価するだけでなく、多くの視聴者に多くの影響を与える放送の社会的役割も十分考慮した上で評価すべきである。
--	---